

劇団俳優座 公演 No.362

本邦初演のイギリス戯曲

ファーム・ホール

Farm Hall

作：キャサリン・モア 翻訳：小田島恒志

演出：真鍋卓嗣

幽閉された物理学者たち。

彼らはナチス・ドイツの核開発に関わっていた——

日程：2026年6月15日(月)～30日(火)

会場：俳優座スタジオ

01

上演にあたって

原子爆弾の誕生は、人類の進歩だったのか——。

科学と人間の関係という普遍的な問いに、鋭く、そして深く迫る本作。

原爆を生み出した科学者たちを単純に断罪するのではなく、彼らの葛藤や迷い、プライドや恐怖といった“人間の心”を丁寧にすくい上げ、観客とともに対話するように描き出します。

舞台は 1945 年夏。

外界と隔絶された施設で、原爆開発に人生を賭けた科学者たちの会話は、実はすべて秘密裏に録音されていた——。

歴史の闇に埋もれた「実在の記録」をもとに、人類の進歩・政治・科学者の使命感が、未曾有の惨禍とどう交錯したのかをあぶり出す衝撃の物語です。

俳優座スタジオの小空間だからこそ可能な、濃密な心理描写と圧倒的な臨場感。

劇団創立 85 周年に向けたコンセプト「対話～分断を見つめ、考える～」、そして 2026 年度キーワード「科学」を体現する意欲作としてお届けします。

英国で「歴史の複雑さを知的かつエンターテインメントに昇華した」と絶賛された、気鋭の劇作家キャサリン・モアによる傑作。本邦初演。

本邦初演の演出を手がけるのは、今最も注目を集める当劇団の受賞歴豊かな演出家・眞鍋卓嗣。

科学者たちの“声なき対話”が、今、現代の私たちに問いかける——。

1945年、夏。ナチス・ドイツは敗れ、ヒトラーは死んだ。

太平洋の激戦はまだ続いている。

イギリスの片田舎にある屋敷「ファーム・ホール」には、
ナチス政権下で核開発に関わっていたドイツの科学者6人が

「国王陛下の客人」と呼ばれ、丁重に扱われながらも

幽閉されていた。

ナチス陸軍兵器局の主任だったディープナー。

彼に代わり象徴的リーダーとなったノーベル物理学賞受賞者ハイゼンベルク。

ハイゼンベルクの親友にして同僚ヴァイツゼッカー。

ハイゼンベルクの教え子バッゲ。

原子核分裂を発見したノーベル化学賞受賞者ハーン。

公に反ナチスの立場をとるノーベル物理学賞受賞者フォン・ラウエ。

戦争の混沌から隔離され、

チェスを指し、壊れたピアノを修理し、芝居の稽古をして

時間をつぶしていた——

そこへ、ある一報が届く……



キャサリン・モア Katherine Moar [劇作家]

プロフィール

イギリス・バース出身。

デビュー作『ファーム・ホール』は2023年4月にジャーミン・ストリート劇場で初演され「歴史的複雑さを博識でエンターテインメント性のある演劇へと昇華させた才能は、まさに偉業」と絶賛された。同劇場史上最高の興行収入を記録。同年秋にツアー公演を経て、翌夏にシアター・ロイヤル・ヘイマーケットへ移籍。

本作でモアはオフ・シアター賞の最優秀新人劇作家賞にノミネートされた。

現在はハムステッド劇場から委嘱を受けており、同劇場のINSPIREプログラム2023年度コホートに所属。またキングス・カレッジ・ロンドンと帝国戦争博物館で博士号取得を目指している。

2作目の戯曲『ラグドール』でジャーミン・ストリート劇場に復帰。

英国初演時・劇評

「魅力的な実話に基づいた魅惑的なドラマティックなスリラー」

—————エブリシングシアター

「これほど心掴まれる演劇はめったにない」

—————電信

「強烈な作品は方程式を肉と血に変えている」

—————ザ・タイムズ

「手に汗握る…まるで本物のような感覚」

—————英国劇場ガイド

「魅惑的…注目すべき作家」

—————デイリーメール

「パンチの効いた完成度の高い演劇」

—————ガーディアン



小田島恒志 Koshi Odajima [翻訳家]

プロフィール

英文学者・翻訳家・早稲田大学文化構想学部教授。

1962年生まれ。早稲田大学大学院博士課程修了、ロンドン大学修士。D.H. ロレンスの小説と戯曲、戯曲翻訳の実際、現代英米演劇などを研究。

1996年、湯浅芳子賞受賞。

日本英文学会、日本ロレンス協会会員、日本演劇学会会員。

主な翻訳作品

『GHETTO／ゲッター』（ジョシュア・ソボル）

『エヴァ、帰りのない旅』（ダイアン・サミュエルズ）

『アルカディア』（トム・ストッパー）

『コペンハーゲン』（マイケル・フレイン）

『欲望という名の電車』（テネシー・ウィリアムズ）

『ハリーポッターと呪いの子』

(J.K.ローリング／ジャック・ソーン／ジョン・ティファニー)

俳優座作品

2020年『インク』（ジェイムズ・グレアム）

2023年『閻魔の王宮』（フランシス・ヤーチュー・カウイグ）



眞鍋卓嗣 Takshi Manabe [演出家]

プロフィール

1975年東京都出身。劇団俳優座文藝演出部所属。

2002年に劇団俳優座演劇研究所へ入所。

現在は劇団俳優座にて『インコグニート』『インク』『戒厳令』など、自らの企画による演出作を意欲的に発表し続けている。

劇団外での演出作はオペラシアターこんにゃく座『森は生きている』、東京二期会『メリー・ウィドー』、名取事務所『ああ、それなのに、それなのに』など、ストレートプレイからオペラ、ミュージカル、音楽劇まで幅広い。

俳優座内外で演出家として活躍。2020年『雉はじめて鳴く』の演出で、読売演劇賞優秀演出家賞と紀伊國屋演劇賞 個人賞をダブル受賞し、注目される。

その後、2021年 2022年 2024年 読売演劇大賞 優秀演出家賞を受賞。

緻密で繊細な人物描写や空間をダイナミックに描き出す演出が持ち味。

受賞歴

- ・ 第55回紀伊國屋演劇賞個人賞
(劇団俳優座『雉はじめて鳴く』、名取事務所『少年Bが住む家』)
- ・ 第28回読売演劇大賞優秀演出家賞
- ・ 第29回読売演劇大賞優秀演出家賞
(劇団俳優座『インク』、パルコ・プロデュース『海王星』)
- ・ 第30回読売演劇大賞優秀演出家賞 劇団俳優座『猫、獅子になる』(2022年)
- ・ 第11回ハヤカワ「悲劇喜劇」賞 受賞(『閻魔の王宮』)
- ・ 第32回読売演劇大賞優秀演出家賞 受賞(『野がも』)



◆加藤佳男（かとう・よしお） / フォン・ラウエ

・1977年入団 / 東京都出身

<主な出演作品（劇団俳優座公演）>

『教育』（2025年）

作：田中千禾夫 / 演出：中村圭吾

『セチュアンの善人』（2024年）

原作：ベルトルト・ブレヒト / 脚色・演出：田中壮太郎



◆河内 浩（かわち・ひろし） / ハーン

・1990年入団 / 千葉県出身

<主な出演作品（劇団俳優座公演）>

『存在証明』（2025年）

作：長田育恵 / 演出：眞鍋卓嗣

『閻魔の王宮』（2023年）

作：フランシス・ヤーチュー・カウイグ / 演出：眞鍋卓嗣



◆志村史人（しむら・ふみと） / ハイゼンベルク

・1999年入団 / 山梨県出身

<主な出演作品（劇団俳優座公演）>

『存在証明』（2025年）

作：長田育恵 / 演出：眞鍋卓嗣

『野がも』（2024年）

作：ヘンリック・イプセン / 演出：眞鍋卓嗣



◆**齊藤 淳 (さいとう・あつし) / ディープナー**

・2000年入団／千葉県出身

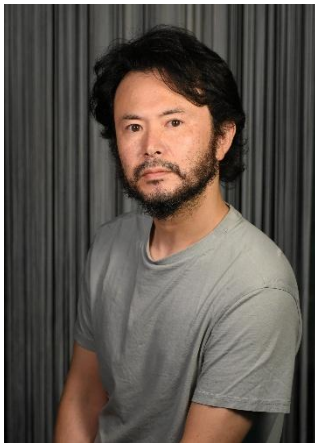
<主な出演作品（劇団俳優座公演）>

『慟哭のリア』（2024年）

原作：W・シェイクスピア／翻案・上演台本・演出：東憲司

『野がも』（2024年）

作：ヘンリック・イプセン／演出：眞鍋卓嗣



◆**八柳 豪 (やつやなぎ・たけし) / ヴァイツゼッカー**

・2003年入団／東京都出身

<主な出演作品（劇団俳優座公演）>

『セチュアンの善人』（2024年）

原作：ベルトルト・ブレヒト／脚色・演出：田中壮太郎

『野がも』（2024年）

作：ヘンリック・イプセン／演出：眞鍋卓嗣



◆**野々山 貴之 (ののやま・たかゆき) / バッグ**

・2007年入団／愛知県出身

<主な出演作品（劇団俳優座公演）>

『存在証明』（2025年）

作：長田育恵／演出：眞鍋卓嗣

『教育』（2025年）

作：田中千禾夫／演出：中村圭吾

07

公演概要

劇団俳優座 公演 No.362 『ファーム・ホール』

作：キャサリン・モア 翻訳：小田島恒志 演出：眞鍋卓嗣

■スタッフ

舞台美術：杉山 至 照明：桜井真澄 音響：木内 拓 衣裳：藤田 友 舞台監督：宮下 卓
舞台監督助手：武藤礼乃、是枝真子 演出助手：中村圭吾
宣伝美術：柳沼博雅 鑑賞サポート：舞台ナビ LAMP 制作：劇団俳優座演劇制作部

■出演：加藤佳男／河内 浩／志村史人／斉藤 淳／八柳 豪／野々山貴之

■期間：2025年6月15日（月）～30日（火）

6月	15(月)	16(火)	17(水)	18(木)	19(金)	20(土)	21(日)	22(月)	23(火)
13:00						A	○	休	
14:00		A	○	○				演	
19:00	★				○			日	○

6月	24(水)	25(木)	26(金)	27(土)	28(日)	29(月)	30(火)
13:00				♡P	B		○
14:00		♡P					
19:00	○		○			○	

受付開始・開場ともに開演の45分前

★=初日割引(6/15のみ) ♡=鑑賞サポート P=プレトーク

B=バックステージイベント A=アフタートーク(各イベントの詳細はHPにて公開)

■会場：俳優座スタジオ 〒106-0032 東京都港区六本木4-9-2 5階

■料金(全席指定)

一般前売 6,800円 当日券 7,000円

以下は前売・当日共に同料金

シニア(65歳以上) 6,500円 U-30(30歳以下) 3,500円

障害者(障害者手帳をお持ちの方) 5,000円

初日割引 6,000円 グループ割引 6,300円(一般・シニアの方、同日3名以上の予約)

ギフトシート=高校生以下をご招待※お席に限りがございます。

■前売開始：2026年4月6日(月)

■前売所：劇団俳優座 03-3405-4743/03-3470-2888(10:30~18:30 土日祝除く)

Confetti 050-3092-0051(平日10:00~17:00)



劇団俳優座 〒106-0032 東京都港区六本木 4-9-2 TEL:03-3470-2888
担当:有馬理恵/服部健一 E-mail:seisaku@haiyuza.net
[Tel:080-7506-2044](tel:080-7506-2044)(有馬)/[080-3213-4529](tel:080-3213-4529)(服部)